

2021年 新年のご挨拶



高森町長
草村 大成

新年を迎えて

新年明けまして、おめでとうございます。

町民の皆さまにおかれましては、新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日ごろより町政の運営に深いご理解と温かいご支援をいただき、心から感謝申し上げます。

昨年は新型コロナウイルス感染症により、国内外において社会経済活動が制約される中で、観光業をはじめ多くの方々にとって厳しい一年となりました。そのような中でも、昨年は南阿蘇鉄道が肥後大津駅に直接乗り入れる方針を南阿蘇鉄道再生協議会において承認いただき、「熊本都市圏30分台構想」

の実現に大きく前進しました。

また、「ONE PIECE 復興プロジェクト」によるフランクシー像が高森駅に登場したことにより、多くのファンが訪れています。

更には、女性だけで構成された「096k (オクロック) 熊本歌劇団」のメンバーが当町に移住して活動を開始するなど、明るい話題も多くあった一年でした。

今年の3月には新阿蘇大橋が開通し、南阿蘇地域へのアクセスが大きく改善するなど、熊本地震からの創造的復興も大きく進展します。

町としましても、皆さまの生活を守るために感染防止対策やアフターコロナを見越した様々な施策を引き続き実施して参ります。

町民の皆さまにおかれましては、引き続き感染症対策を心掛けていただき、令和3年が健康で明るい年となりますことをご祈念いたしまして新年のご挨拶いたします。



高森町議会議長
後藤 三治

負けんばい 高森！

新年、明けましておめでとうございます。

町民の皆さまにおかれましては、輝かしい新春を健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

令和2年を振り返ってみますと、1月に発生した新型コロナウイルスにより、毎年盛大に開催されてきました祭りやイベントの殆どが、中止または規模を縮小しての開催となりました。

さらに、自粛・規制・3密などにより、厳しい生活を強いられた特別な一年ではなかったかと思えます。

一方では、昨年10月に国道57号線現道部が熊本地震以来、4年半ぶりに復旧し通行可能となりました。また、阿蘇大橋も本年3月には開通

するという嬉しいニュースもありました。

今後、高森町の産業・観光復興に大きな経済効果をもたらすものと期待を致しております。

本町は、いま「南阿蘇鉄道」の復旧を見据えた高森駅周辺開発の具体化が進められ、「観光立町」を掲げるに相応しい事業計画を進めています。

私たち、議会としても未来の高森町に繋げる政策として後押しをして参ります。

最後に、町民の皆様には、コロナ対策とともに健康に留意され、令和3年が幸多き年となることを祈念申し上げます。新年のご挨拶いたします。

高森町議会

副議長 牛嶋 津世志

佐伯 金也

田上 更生

本田 生一

立山 広滋

芹口 誓彰

後藤 清治

津留 智幸

後藤 巖